

山形県警で所有している7種類の交通安全教育機器を紹介します！ 全て無料となりますので、学校・職場・集会などご利用ください♪

1 交通安全ゆとり号（自動車用）

マイクロバスの車内で、車の運転に関するテストを行い、運転に必要な注意力や判断力を診断し、診断結果を元に安全運転のアドバイスをしてくれます。

あなたの運転技能は、同年代の平均と比べると、どのような結果になるでしょうか。是非、ご活用ください。



2 動画KYT（自動車用）

K（危険）Y（予測）T（トレーニング）の略称。

その名の通り、動画を見ながら、運転時の危険予測についてトレーニングを行います。

最大20人まで参加可能で、参加者同士がディスカッションすることで、より効果的な安全教育が実践できます。



3 交通安全教育シミュレータ（自動車・自転車・歩行者用）

コンピュータが再現するリアルな市街地を通行して危険予測と安全運転について学習します。

参加者の用途に応じて臨機応変に対応できますので、事前に何の機器を使用するのか担当の警察官にお伝えください。



4 危険予測シミュレータ（歩行者用）

バーチャルリアリティの世界に再現した3D映像の市街地を、危険を予測しながら歩行する体験を通じて、危険予測と安全確認の重要性を学習するとともに、危険感受性を高めることを目的とした交通安全教育システムです。



5 わたりジョーズ君（歩行者用）

三面鏡の大きな画面に車の行き交う危険な道路を再現し、リアルな道路横断を体験することができます。

操作方法は、足踏みをするだけなので、機械になれていない方でも安全かつ簡単に学習することができます。

無事に道路を横断できるかチャレンジしてみましょう！



6 わた郎君（歩行者用）

機材がわたりジョーズ君よりもコンパクトな設計となっているため、小規模な会場でも設置が可能です。

目の前に映し出された映像を見ながら足踏みするだけなので、子供から高齢者まで幅広い年齢の方が体験できます。



7 運転能力診断装置

車の安全運転に欠かせない「動体視力」「注意・配分力」「短期記憶力」「判断力」の4つの能力を診断、結果に応じた的確なアドバイスを提供する交通安全教育システムです。



☆お申し込みの際は、最寄りの警察署まで電話の上、「交通安全教育機器の申し込み」とお伝えください。

山形県警察